

# 令和5年度 事業報告書

社会福祉法人 新潟臨港福祉会

特別養護老人ホーム桃山園

デイサービスセンター桃山園

ケアハウス桃山園

デイサービスセンターここあん

訪問介護ステーションここあん

居宅介護支援事業所ここあん

サービス付き高齢者向け住宅ここあん

## I. 事業の概況

社会福祉法人の経営は、物価高騰により大きなダメージを受けており、特に介護保険事業を主とする法人は36%が赤字と言われ、非常に厳しい状況にあります。

このような状況の中で、令和5年度は、**1.人材の確保に向けた取り組みの強化** **2.人材の育成**  
**3. 経営基盤の強化、事業の効率化**を基本方針に掲げて、事業運営を行ってまいりました。

人材確保は、不足しております特養スタッフが4名(1名パート)入職しましたが、退職も3名と増員とはならず、厳しい状況が続いております。全産業が労働者不足である現状、介護職を選択する人が際立って減少し、今後の人員確保が危惧されます。学校、新潟県主催の説明会参加、有料媒体の利用、実習生の受け入れを積極的に実施しております。

人材の育成につきましては、施設内外の研修に参加し職員のレベルアップを図ってまいりました。職員が利用者、その家族に信頼される施設であり続けるための接遇研修や技術習得研修トラブルに対応する研修などと同時に、リーダーの育成に努めてきました。

経営基盤の強化・事業の効率化では、桃山園の各事業につきまして、ベースとなる特養は退所から入所までの期間を7日以内とする方針を立て、ようやく定着し2月、3月で稼働率は改善傾向にあります。デイサービスは、日曜日を定休日にして介護職の勤務効率を改善するとともに、月曜日から土曜日の利用者数を平準化しました。また、人員削減、営業強化、一人当たりの利用者回数を上げるなどの取り組みで、特養、デイサービスともに来年度事業運営に目途が出来たと考えております。ケアハウスはなかなか満室とならず、令和4年度と比較しますと稼働は伸びておりますが、早急に満室になる対策を行い、赤字幅を減少しなければなりません。

令和4年9月からスタートしましたサービス付き高齢者向け住宅は、入居者が増えておりません。従いまして併設するデイ、ヘルパーステーションは低調に推移しました。資料請求、見学、電話問い合わせなどの件数は年間86件ありましたが入居は10名程度でした。選ばれなかった理由を明確にし、また入居条件の緩和を行う等、入居者確保に全力をあげて取り組み、次年度に向け安定した事業経営を図ってまいります。

## II. 事業実績

令和4年度の事業実績は、特別養護老人ホーム桃山園の稼働率は91.2%と昨年に比較しまして△1.0%となり低調に推移いたしました。デイサービスセンターの稼働率は66.8%で昨年に比較して△3.6%と厳しい状況になりました。ケアハウスにつきましても稼働率が91.7%と当初予算が達成されませんでした。ここあんの稼働率は、サ高住37.9%、デイ20.0%、ヘルパーステーションの延訪問回数は3,276人と入居者の増加がなく厳しい状況になりました。

桃山園の各事業は上半期低調に推移し、ここあんは年間を通して入居者が増加しなかったことで、法人全体の損益状況はサービス活動収益計が552,636千円で、昨年比20,518千円の増収となりましたが、サービス活動費用計が623,006千円で昨年比27,122千円増加し、サービス活動外増減、特別増減を入れた当期活動増減差額は△65,498千円と大幅な赤字となりました。

特にサービス付き高齢者向け住宅の稼動が上がらず、ここあんの他の事業も厳しい状況となり、法人経営に大きな損失をきたす結果となりました。改善策を検討し早急に入居者増加を行います。

新型コロナウイルスのパンデミックはようやくおさまり、経済も新たな展開を迎えようとしております。社会福祉法人を取り巻く環境は非常に厳しく、今後の高齢者福祉に対応するために ICT 化、医療との連携、人材確保など生産性向上の推進とともに、持続可能な法人を確保するための評価・重点化を行い、地域社会の期待に応えていく所存です。

### Ⅲ. 庶務事項

#### 1. 理事会

#### 決議事項

- 令和 5 年 6 月 7 日 令和 4 年度事業報告・決算報告・監事監査報告承認  
理事任期満了につき候補者選任、監事任期満了につき候補者選任  
第 94 回定時評議員会開催事項承認
- 令和 5 年 6 月 23 日 理事長選定
- 令和 5 年 11 月 15 日 定款施行規則一部変更承認
- 令和 6 年 3 月 27 日 令和 5 年度資金収支補正予算承認、  
令和 6 年度事業計画及び収支予算承認

#### 2. 評議員会

#### 決議事項

- 令和 5 年 6 月 23 日 令和 4 年度事業報告・決算報告・監事監査報告承認  
理事任期満了につき選任承認、監事任期満了につき選任承認

#### 3. 第三者委員会

- 令和 5 年 5 月 20 日 令和 4 年度苦情処理実績報告

#### 4. 登記事項

- 令和 5 年 6 月 28 日 理事長変更登記、資産の総額の変更登記

#### 5. その他

- 令和 5 年 5 月 24 日 新潟市消防局立ち入り検査  
令和 5 年 11 月 2 日 桃山園空調更新工事完了

### Ⅳ. 法人内部監査

令和 6 年 5 月 8 日

- 監査実施事項 ①法人役員等の業務が適切に執行されているか。  
②事業報告について、法令及び定款に従い実施されているか。  
③計算書及び財産目録が適正に処理されているか。
- 指摘事項 なし

## V. 所轄庁からの報告徴収・検査

ありませんでした。

## VI. 苦情の受け付け及び解決

令和5年度におきまして、福祉サービスにおける苦情の受付はありません。

## VII. 地域における公益的取組

社会福祉法人等による生活困難者に対する介護保険サービスに係る利用者負担軽減制度を実施し、法人全体で1,050,910円を「利用者負担軽減額」において計上しております。

地域交流事業については、下記地域イベントに取り組みました。

- ・令和5年 8月 光と船のキラメキ！山の下夜遊びランド 協賛、参加
- ・令和5年 9月 山の下神明宮秋季大祭 協賛
- ・令和5年10月 山の下ハロウィンパーティー 協賛

## VIII. 職員教育・研修

令和5年度は、職員の資質向上と職員としての責任・役割を認識し、キャリア形成の基盤を作ることを目的に研修を行いました。Zoom等Webでの研修が主体でしたが、コロナが5類に移行したこともあり、内部研修の「AEDの使い方」や「オムツの当て方」研修はほぼ従来通りの集合研修を実践することができました。

施設内研修は559名、施設外研修は昨年度の2倍の83名が参加しました。

### 【内部研修】

月/日	研修名	参加者・対象者	内容
5/8～ 5/12	AEDの使い方研修	全職員 59名	AEDの使用目的・使用方法を学ぶ デモ機と人形を用いて心臓蘇生を実戦形式で行った
6/1～ 6/30	手洗い研修	全職員 60名	手洗い・手指衛生の方法・防護具の着脱方法といった感染対策の基本を動画で再確認し、徹底する
9/1～ 10/30	看取り介護に関する研修	全職員 51名	看取り介護を理解し過程を理解する 各職種の役割を理解する
10/1～ 11/10	身体拘束についての研修	全職員 75名	動画研修後にアンケートを行い、現場の実際のケアを確認した
10/2～ 10/6	ガウンテクニック・吐物研修	全職員 61名	感染症拡大防止のため嘔吐物の処理方法の確認を行った
11/1～ 11/30	褥瘡を作らない為にできる事	介護職・看護職 59名	褥瘡委員会が作成した資料を基に褥瘡を予防するための体位交換・体圧分散・栄養管理・スキンケアについて学んだ
11/16～ 11/20	オムツの当て方研修	介護職 15名	ポジショニングの定義と目的を理解し、正しいポジショニングを学ぶ
2/11	バーサルインデックス (BI) の評価方法について	デイサービス職員 9名	バーサルインデックスの概要と10項目の評価方法を学ぶ
2/1～ 2/15	身体拘束研修 スピーチロックについて	介護職・看護職 75名	3つの身体拘束「スピーチロック」「ドラッグロック」「フィジカルロック」について学ぶ
3/27	事故・ヒヤリハットの研修	全職員 60名	令和5年度の事故・ヒヤリハットの集計を行い結果を検証した その結果から各現場で検討した

### 【外部研修】

区分	参加数 (延人数)	受講内容等(抜粋)
管理者対象研修	12名	社会福祉施設長資格認定講習課程、感染対策研修会、苦情対応研修、介護職のための医学知識、現任研修、業務継続計画BCP作成セミナー等
介護職(主任・副主任)対象研修	13名	通所介護運営公開勉強会、サービス提供責任者研修、認知症介護実践者リーダー研修、コンフリクトマネジメント研修等
介護職(中堅職員)対象研修	15名	認知症介護実践者研修、介護福祉士養成実習施設実習指導者研修、業務改善研修、口腔ケア研修、コーチング研修、喀痰吸引研修、看取りケア研修等
介護職(一般職員)対象研修	8名	コミュニケーション力向上研修、高齢者虐待防止研修、福祉職の接遇マナー研修、認知症ケア・対応研修、介護福祉士国家試験対策講座、看取りケア研修等
生活相談員・ケアマネジャー対象研修	14名	介護支援専門員法定研修、主任介護支援専門員ステップアップ研修、地域福祉コーディネーター育成研修、認定調査従事者現任研修、居宅支援事業所向け説明会等
看護職・医療技術職・栄養士対象研修	5名	食品衛生責任者実習講習会、統一ケアの実践による課題解決
事務職員対象研修	16名	社会保険事務講習会、算定基礎届事務講習会、人材育成支援セミナー、高齢者施設向けBCP策定、職場環境整備・改善支援事業セミナー、処遇改善加算活用セミナー等

## IX. 補助金事業及び助成金事業・寄附金の実績報告

### 1. 補助金事業及び助成金事業について

下記の助成事業及び補助金事業により各対象の事業を実施しましたので報告します。

No.	補助金等の名称	交付目的及び概要	交付団体等	交付額	当事業による効果等
1	人材開発支援助成金	職業生活設計の全期間を通じて段階的かつ体系的な職業能力開発を促進する訓練等に助成	新潟労働局	¥324,800	介護福祉士実務者研修、認知症介護実践リーダー研修、介護福祉士実習指導者研修等により職員のキャリアアップ促進に繋がった
2	両立支援等助成金	育児休業を円滑な取得、職場復帰に資する取り組み等に対する助成	新潟労働局	¥285,000	職員が安心して育児休業を取得できる仕組みを構築できた
3	特定求職者雇用開発助成金	就職困難者を雇用保険一般被保険者として雇い入れ、継続して雇用する企業に助成	新潟労働局	¥300,000	就職困難者を安定的に雇用できる環境を構築できた
4	新潟県医療機関・社会福祉施設光熱費等高騰対策緊急支援事業補助金	光熱水費等が高騰する影響を特に強く受けている、県内の医療機関・社会福祉施設における安全な医療福祉サービスの提供や事業継続の確保を図ることを目的として助成	新潟県	¥744,000	全ての経費が高騰するなか当補助事業により経費の補填をすることができた
5	新潟市高齢者施設等光熱費当高騰対策支援金	光熱水費高騰の補填を行う	新潟市	¥5,072,000	高騰する電気及びガス料金にに対し補填することができた
6	令和5年度結核予防費補助金事業	特別養護老人ホームの入所者に対する結核予防に対する補助	新潟市	¥60,833	本事業により、入所者の結核予防措置が実施できた
7	軽費老人ホーム事務費補助金	軽費老人ホームの運営費の補助	新潟市	¥16,807,000	本事業により利用者に対し包括的なサービスが提供できた
8	疾病予防補助金	職員に対するインフルエンザ予防接種費用に対する補助	新潟臨港保健組合	¥79,000	当法人職員に対し円滑に予防接種をすることができた
9	介護職員処遇改善支援補助金	「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づき、介護職員を対象に、賃上げ効果が継続される取組みを行うための補助	新潟県	¥606,340	令和6年2月より介護職員の賃金改善の実施をすることができた
10	令和4年度先進的エネルギー投資促進支援事業費補助金	省エネ性能の高い特定の設備等への更新に対して支援を行う	(一社)環境共創イニシアチブ	¥10,983,000	老朽化した空調設備の更新を完了することができた
<b>合 計</b>				<b>¥35,261,973</b>	

### 2. 寄附金

令和5年度における寄附金はありませんでした。